

第1章 はじめに

- (1) 背景と目的
- (2) 本書の構成
- (3) 湖南省公共施設白書の位置づけ

第1章 はじめに

(1) 背景と目的

本市は、合併市であることから、庁舎や出張所、社会教育施設、福祉施設や観光施設など、旧町で整備された多くの公共施設を継承しており、施設の中には、類似・重複しているものや市民ニーズの変化に伴い設置意義が薄れているものがあるなど、非効率な状況となっています。

また、これらの施設の中には老朽化が著しいものも少なくなく、間もなく大規模修繕・更新の時期を迎えるなど、財政的にも大きな負担となることが予測されています。

今後、本市を取り巻く環境が一層厳しくなる中で、人口構造の変化に伴う市民ニーズを的確に把握し、公共施設の適正な配置や効率的な管理運営、施設の長寿命化等、公共施設の最適化を計画的・効果的に実現する公共施設マネジメントを実践することが求められています。

湖南省公共施設白書は、公共施設のサービス、施設の老朽化、管理運営、コストなどの客観的な情報を整理・分析し、公共施設の最適化に向けた今後のあり方を検討するための基礎資料として作成し、今後、具体的な検討へとつなげていくものです。

(2) 本書の構成

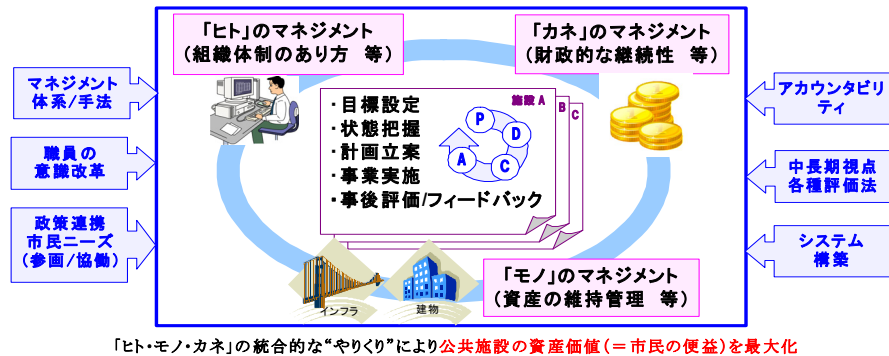
湖南省公共施設白書は、以下に示す9つの項目から構成しています。

項目	記載内容
第1章 はじめに	・背景と目的、本書の構成、湖南省公共施設白書の位置づけ
第2章 湖南省の概要	・市の概況、人口動向、財政状況
第3章 湖南省の公共施設	・公共施設のサービス提供、ストック、耐震対策、バリアフリー化、省エネ及び創エネ・蓄エネ、管理運営及びコストの状況 ・地域別施設整備状況
第4章 湖南省のインフラ施設	・インフラ施設のストック状況
第5章 経常修繕、大規模修繕及び更新に係る将来費用	・公共施設、インフラ施設等の将来費用 ・総事業費
第6章 市民利用施設の現状	・市民利用施設のサービス、建物、管理運営、利用及びコスト状況
第7章 課題のまとめと必要な取り組み	・公共施設の現状と課題のまとめ ・今後の公共施設マネジメントの進め方
第8章 対象施設一覧	・対象施設一覧
第9章 用語説明	・用語説明

(3) 湖南省公共施設白書の位置づけ

公共施設マネジメントを実践する上で経営資源である組織体制等の人的資源（ヒト）の適正な配置、公共施設を含む資産（モノ）の適切な管理、健全財政（カネ）の継続性に配慮し、将来想定される課題を明確にすることが重要であると考えています。

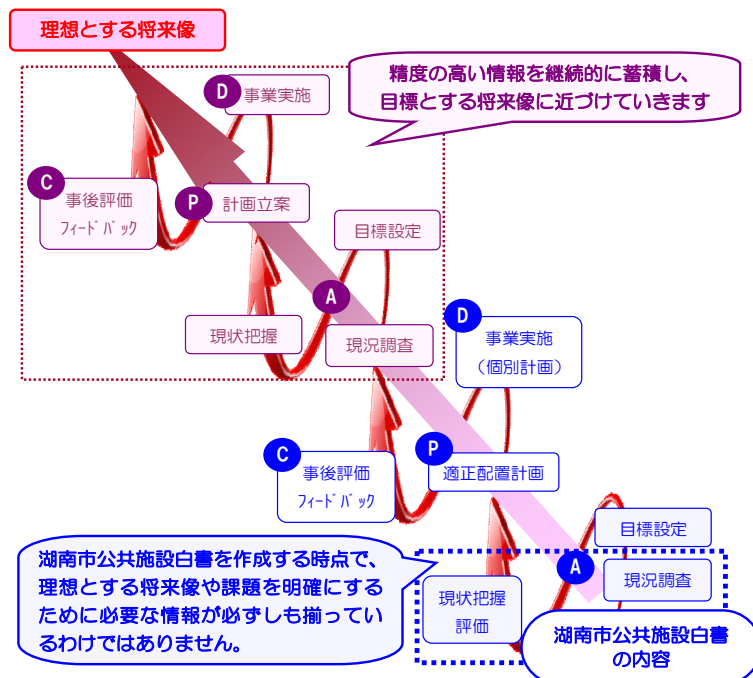
図表 1-1 市全体の行政経営と公共施設マネジメントの関係のイメージ



一方、公共施設マネジメントの導入段階では、基礎データの不足等により、精度の高い計画の策定は困難ですが、中長期的な見通しを持たないまま大規模修繕や更新をすることは将来リスクの増大や、施設の管理運営に支障をきたす可能性があります。

今後はPDCAサイクルに沿って定期的に更新可能なデータを整理・分析することで、より精度の高い計画の策定を目指すことが必要となります。

図表 1-2 公共施設マネジメントのPDCAサイクル



湖南省公共施設白書は、これらの公共施設マネジメントのPDCAサイクルのうち、公共施設の現況把握を行い、今後のデータ整理・分析手法を示すとともに、庁内外における公共施設に対する共通認識を持ち、今後の公共施設マネジメント推進の一助とするための資料として位置付けております。